土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　砂防工事全体計画書作成業務

事　業　・　工　事　名

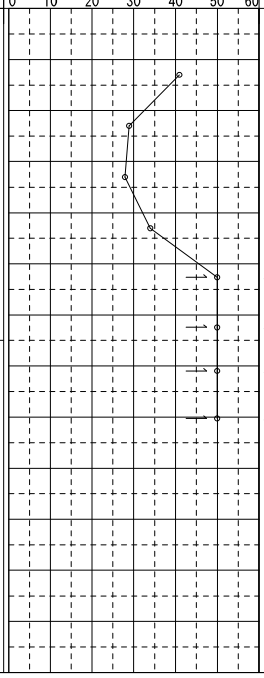
調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.2-西ノ谷川支川-補助基準点1	調査位置	広島県安芸郡海田町	北緯	34° 21′ 18.0495″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年12月 1日～ 令和2年12月 2日	東経	132° 33′ 29.0660″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 148.00m	角度	180° 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	8.00m	地盤勾配	48° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-D / エンジン：ヤンマーTF90M / ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	146.50	1.50		礫混じり砂		淡褐	rd4		木根を混入する 径3cm以下の礫を20～30%混入する 砂は中～粗砂を主体とする 粗砂状の小礫を多く混入する	
2～5	143.00	5.00		花崗岩		赤褐			DL級岩盤 風化が著しく進行し撹乱すると土砂化する 造岩鉱物は風化変質、変色している 径5mm以下の石英、長石粒が残存する 部分的に長石類は細粒土化する	
5～8	140.00	8.00		花崗岩		淡灰褐			DM級岩盤 風化が著しく進行し撹乱すると土砂化する 造岩鉱物は風化変質、変色している 長石類は白濁化している 部分的に径2cm以下の礫状コアで採取するが指圧で砕ける	12/2 6.50

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
41	1.15	13	14	14	41/300		
	1.45						
29	2.15	7	7	15	29/300		
	2.45						
28	3.15	7	8	13	28/300		
	3.45						
34	4.15	8	12	14	34/300		
	4.45						
50以上	5.15	16	24	10/30	50/230	230	
	5.38						
50以上	6.15	19	31/90		50/190	190	
	6.34						
50以上	7.05	50			50/100	100	
	7.15						
50以上	8.00	50			50/50	50	
	8.05	50					

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				12/1
				12/2